

2017 Laser All Japan Championships は、日本レーザー・クラス協会主催、日本レーザー・クラス協会、山口県セーリング連盟の運営により、2017年11月2日(木)~5日(日)の期間、山口県光市山口県スポーツ交流村に本部を置き、その沖海面にてレースが開催される。

## 帆走指示書

SIにおける[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により軽減することができることを意味する。

### 1. 規則

- 1.1 本レガッタには、セーリング競技規則に定義された規則が適用される。
- 1.2 RRS 付則 T が適用される。
- 1.3 RRS 87 に基づき、レーザー・クラス・ルール 7(a)を以下のように制限する：レース中は登録された1名のみ乗艇できる。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、山口県スポーツ交流村クラブ・ハウスの大会本部に設置された公式掲示板に掲示する。

### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスの最初の予告信号の時刻の1時間前までに掲示する。ただしレース日程の変更は、発効する前日の19:00までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、山口県スポーツ交流村クラブ・ハウス前のフラッグ・ポールに掲揚する。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信

号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

- 4.3 音響1声とともに掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚後30分以降に発せられる」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れないよう求められる。[DP]

## 5. レース日程

### 5.1 レース日程およびレース数

11月2日(木)

10:00 - 17:00 登録

14:00 - 17:00 検査

11月3日(金)

8:00 - 9:30 登録・検査

9:30 - 開会式・ブリーフィング

11:25 最初の予告信号 2レースを予定

11月4日(土)

8:30 - ブリーフィング

9:55 最初の予告信号 3レースを予定

18:00 - レセプション

11月5日(日)

8:30 - ブリーフィング

9:55 最初の予告信号 2レースを予定

16:00 - 閉会式

閉会式の予定時刻が変更される場合は最終レース終了後掲示される。

- 5.2 1日につき1レースのみ翌日に予定されたレースを前倒しで実施することがある。

- 5.3 1つのレースまたは一連のレースがまもなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響1声とともにオレンジ旗のスタート・ライン旗を掲揚する。

- 5.3 レースの予定された最終日には、13:00より後に予告信号を発しない。

## 6. クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

クラス	クラス旗
レーザー	白色地に赤のレーザー・マーク
レーザー・ラジアル	緑色地に赤のレーザー・マーク
レーザー4.7	黄色地に赤のレーザー・マーク

## 7. レース・エリア

添付書 A0.にレース・エリアの位置を示す。

## 8. コース

8.1 添付書 A1~4. の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークのどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

8.2 各クラスの予告信号以前に帆走するコースを示す数字旗をレース委員会の信号艇に掲揚する。

旗	コース
数字旗 1	1
数字旗 2	2
数字旗 3	3
数字旗 4	4

8.3 予告信号以前にレース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

8.4 4レグ以上帆走したマークでフィニッシュすることでコース短縮することがある。

## 9. マーク

9.1 コース 1、2、3 の場合、マーク 1、2 および 5 は、オレンジ色円筒形ブイ(大)、マーク 3S、3P、4S、4P および 4A は、オレンジ色円筒形ブイ(小)とする。

9.2 コース 4 の場合、マーク 1 はオレンジ色円筒形ブイ(大)、マーク 2S および 2P は、オレンジ色円筒形ブイ(小)、マーク 1A は、オレンジ色円筒形ブイとする。

ジ色円筒形ブイとする。

9.3 スタート・マークは、スターボード端にあるレース委員会の信号艇とポート端にあるレース委員会の運営艇とする。

9.4 フィニッシュ・マークは、スターボード端にあるレース委員会の運営艇とポート端にあるオレンジ色円筒形ブイ(小)とする。

9.5 SI 11 に規定する新しいマーク 1、2 および 5 は黄色円筒形ブイ(大)、マーク 3S、3P、4S および 4P は黄円筒形ブイ(小)とする。

9.6 ゲートを除きコースの次のレグの変更の信号を発するレース委員会艇は、指示 11.2 で規定されるマークである。

## 10. スタート

10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールの間とする。

10.2 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・ラインから 100m の範囲を回避しなければならない。[DP]

10.3 スタート信号の 4 分より後にスタートする艇は、審問なしに「スタートしなかった」と記録される。この項は付則 A4 を変更している。

10.4 RRS 30.4(黒色旗規則)に以下を追加する。

(a) セール番号は少なくとも 3 分間掲示する。番号を最初に掲示する時に長音が発せられる。番号が掲示された艇は、新しい準備信号までに SI 10.4(b)に定義されるレース・エリアを離れなければならない。それに従わない場合、その艇は DNE として記録される。

(b) スタート信号前、レース・エリアはスタート・ラインから 100m の範囲とする。

スタート信号後、レース・エリアはいずれかのフリートがレースを行っている間は、艇が通常帆走すると考えられる地点の外側 100m の範囲内と、コース 1、2、3 の場合、マーク 1、2、3S、4P および 5 を結んだ範囲とする。

- (c) レース委員会が RRS 62.1(a)に基づいて救済が与えられると判断した場合、RRS 30.4 違反艇のセール番号を掲示せず失格にしないことがある。これは RRS 30.4、60.2 および 63.1 を変更している。
- (d) RRS 30.4 適用上は、先立って行われ中止またはリコールとなったレースと同じレース番号となるレースは、後日に再レースが行われる場合でも、「再スタート」または「再レース」とする。

## 11. コースの次のレグの変更

- 11.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。
- 11.2 ゲートを除いて、艇は、次のレグの変更の信号を発しているレース委員会艇と近くのマークとの間をマークをポートに見て、レース委員会艇をスターボードに見て通過しなければならない。これは RRS 28 を変更している。
- 11.3 レグの長さの伸縮を示す"+"および"-の信号は示されない。これは RRS 33(b)を変更している。
- 11.4 コース 4 のマーク 1 が変更される場合、マーク 1A は設置されない。

## 12. フィニッシュ

- 12.1 フィニッシュ・ラインは、スターボードの端のフィニッシュ・マーク上に青色旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

## 13. ペナルティー方式

付則 P が適用される。

## 14. タイム・リミットとターゲット・タイム

- 14.1 タイム・リミットとターゲット・タイムは、次のとおりとする。

タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	ターゲット・タイム
90 分	30 分	45 分

マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースを中止する。ターゲット・タイム通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、RRS 62.1(a)を変更している。

- 14.2 先頭艇がコースを帆走して、フィニッシュ後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』と記録される。この項は、RRS 35、A4、A5 を変更している。

## 15. 抗議と救済の要求

- 15.1 抗議書はレース・オフィスで入手できる。抗議および救済要求および審問の再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。
- 15.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 90 分とする。

- 15.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を掲示される。審問はプロテスト・ルームにて掲示された時刻に行われる。
- 15.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 15.5 SI 13に基づき RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、提示される。
- 15.6 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 30 分以内に提出されなければならない。これは RRS 62.2 を変更している。
16. 得点
- 16.1 本大会は 7 レースを予定し、2 レースを完了することで成立する。
- 16.2 5 レース未満しか完了しなかった場合、艇の大会の得点は、レースの得点の合計とする。5 レース以上完了した場合、艇の大会の得点は、最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。
17. 安全規定
- 17.1 艇は毎日、出艇前にレース・オフィスの所定の用紙にサインして出艇し、着艇後当日の抗議締切時刻以前にサインしなければならない。[DP]
- 17.2 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。フィニッシュした後にリタイアする艇は、帰着後直ちに、抗議締切時刻以前に、レース・オフィスのリタイア報告書にサインをしなければならない。[DP]
- 17.3 衣服や個人装備を替えたり整えたりする一時的な間を除き、競技者は水上では常に膨張式ではない個人用浮揚用具を着用していなければならない。ウエット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚器具ではない。これは RRS 40 を変更している。[DP]
- 17.4 救助を求める必要がある場合には"手のひらを広げて"振り、その意志を表わすこと。救助の必要がない場合には"こぶしを握って"振ること。
- 17.5 必要とみなされた場合に、競技者は自艇を放棄してレスキュー・ボートに乗艇するよう運営艇に命じられることがある。強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。
- 17.6 直径 6mm、長さ 5m 以上のバウ・ラインをバウ・アイにつけておかななければならない。[DP]
- 17.7 マスト・トップに脱着可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球形に限り、1 か所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより、付けたり外したりしてもよい。[DP]
18. 乗員の交代と装備の交換
- 18.1 競技者の交代は、許可されない。[DP]
- 18.2 選手は大会において 1 つのハル、セール、マスト、ブーム、センターボード、ラダーを使用しなくてはならない。[DP]
- 18.3 艇または装備が損傷した場合、レース委員長の書面での許可を受けた場合のみ交換することができる。その日の最初のレースのスタート前 90 分以降からその日の最後のレースのスタート前までに破

損が発生した場合、テクニカル委員会に口頭での臨時許可を得、その日のプロテスト・タイム終了前に書面での許可申し込みを行わなければならない。[DP]

## 19. 艇、装備および衣類の検査

19.1 艇と装備の検査を艇置き場にて受けなければならない。

19.2 艇、装備および衣類は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

## 20. 運営艇

運営艇の標識は、次のとおりとする。

20.1 レース委員会の運営艇は白色旗を掲揚する。

20.2 プロテスト委員会の運営艇は白色地に JURY の黒色文字の旗を掲揚する。

20.3 救助艇は白色地に RESCUE の赤色文字の旗を掲揚する。

## 21. 支援艇

21.1 チーム・リーダー、コーチその他の支援要員は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、もしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。ただしレスキュー等緊急の場合を除く。[DP]

21.2 支援艇は水上にある場合、大会受付時に交付される「ピンク旗」を掲揚しなければ

ならない。[DP]

21.3 レース委員会艇に「グリーン旗」が掲揚された場合、レース・エリアに入った救助活動の協力を要請する。この場合、指示 21.1 は適用されない。[DP]

## 22. ごみ処理

ごみは支援艇またはレース委員会の運営艇に渡してもよい。

## 23. 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線送信も、全ての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。[DP]

## 24. 賞

24.1 各クラス成績上位者には、レーザー・クラス・ルール付則に基づき、レーザーキューブトロフィーが授与される。

その他特別賞が授与される。

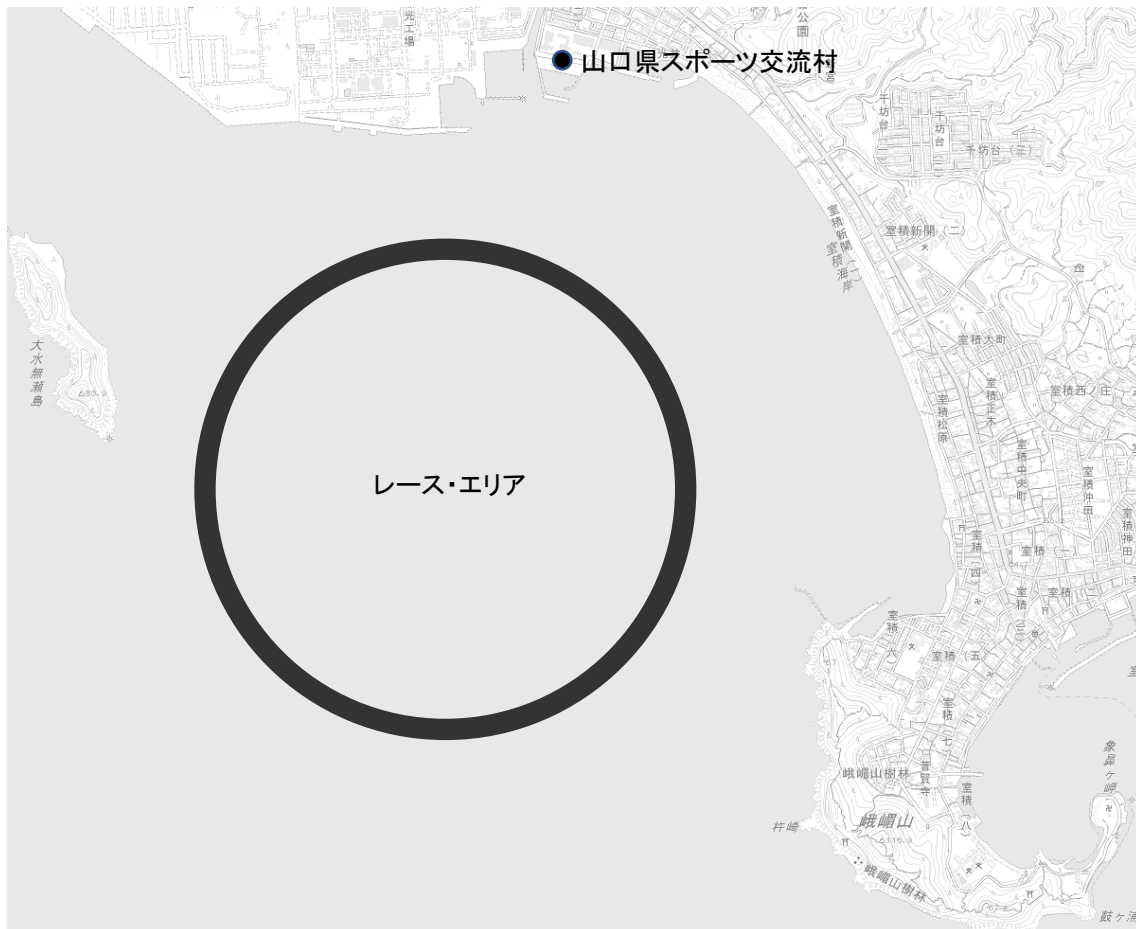
24.2 「2018 年度世界選手権等代表選手選考方針」に従ってクオリファイを与える。

## 25. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS 4[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

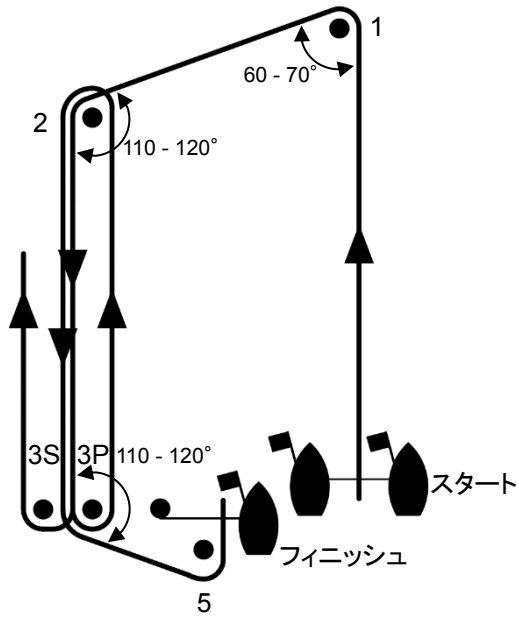
添付書

A0. レース・エリア



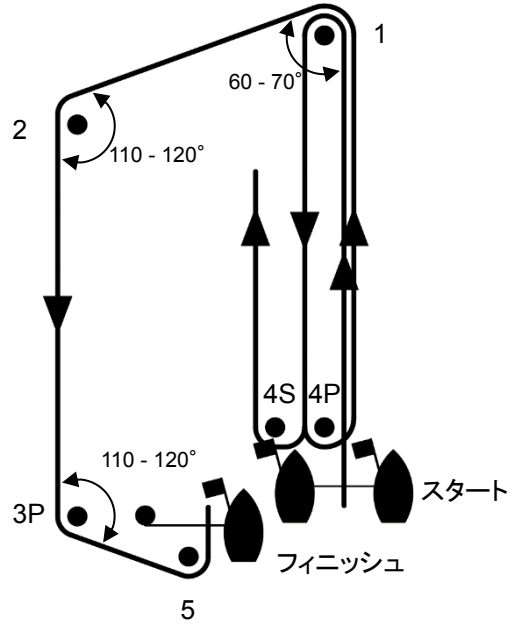
A1. コース 1

スタート-1-2-3S/3P-2-3P-5-フィニッシュ



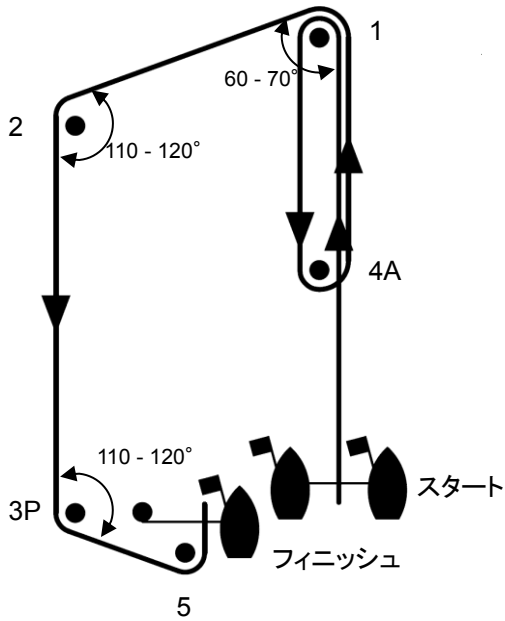
A2. コース 2

スタート-1-4S/4P-1-2-3P-5-フィニッシュ



A3. コース 3

スタート-1-4A-1-2-3P-5-フィニッシュ



A4. コース 4

スタート-1-1A-2S/2P-1-1A-2P-フィニッシュ

